

今年度学校経営方針—知徳体—②

グローバル時代を生きる知徳体のバランスのとれた子ども(心の教育)  
 教育方針  
 教育目標「おもいやりのある子」

- ◎「主体的、対話的で深い学び」(新学習指導要領の趣旨)を活かした教育活動
- 道徳教育の充実(道徳授業の充実:三小スタイルをもとにした、道徳ノートを活用した授業)
- 自尊心(自己肯定感)を醸成する:「誉め、励まし、認める」  
「小さな成功体験の積み重ね」
- 学級力スタンダードを活用して、主体的に。
- 特別支援教育とも連携して、「違いを認め、違いを受け入れる風土」を醸成
- 言語環境の整備:ふわふわ言葉、ちくちく言葉の取り組み
- いじめ・暴力防止:日常の見取り、アンケート、いじめ対策委員運
- 不登校傾向のある児童への対応:保健室、ホッとルームの活用、相談室、SC,SSWとの連携)

今年度学校経営の3つの柱

- ①連携・協働
- ②発信
- ③自己肯定感

今年度学校経営方針—知徳体—③

グローバル時代を生きる知徳体のバランスのとれた子ども(育成)  
 教育方針  
 教育目標「体力向上」  
 教育目標「健康でたくましい子」

- ◎「主体的、対話的で深い学び」(新学習指導要領の趣旨)を活かした教育活動
- 体育授業の充実(体育研究成果を活かした授業:ねらいを共有、指導と評価の一体化と教師の言葉かけ=指導言、褒める言葉等々、振り返りを重視し学びを次に生かす)
- 体力向上のための方策(運動量の確保とともに、豊かなスポーツライフを意識し、「わんぱくタイム」、「縄跳びタイム」、「持久走タイム」などに取り組む)

今年度学校経営の3つの柱①

- ①連携・協働
  - ・「地域とともにある学校」  
 学校運営協議会、小中連携・校区  
 連携・地域連携・協働(市民科、青少年  
 健康・地域関係諸機関)、保護者連  
 携・協働(PTA、ホランテイア)、関係  
 諸機関連携(子家セン、児相、市教  
 委、相談室)  
 ・連携・協働の学習活動